

MAKUREN

~Akiya Magazine~

2026 6
vol.01

幕練~空き家マガジン~では空き施設を活用し幕別町再生に貢献していただいている方々をご紹介します！
ビジネス、移住、町の取り組み、空き施設再生事業など様々な観点からお話をお聞きし幕別町の空き施設活用に
興味がある方に向けて有効と感じています。一番のメインは再生店舗のご紹介となります。
マガジンをきっかけにお店に足を運んでいただければ幸いです。

TOKACHI BARON



<TOKACHI BARON>

住 所 : 幕別町本町122
OPEN : 10:30~17:00
定休日 : 水曜日、木曜日
土日祝イートイン可

※営業時間・休みはInstagramにて要確認



梁 泰植 (ヤン テシク)

東京で25年間、IT企業やAI開発に携わってきた韓国出身の梁さん。
2025年3月、十勝の豊かな食材や質の高い乳製品に魅力を感じ、
「飲食店を営むなら十勝で」と決意し、幕別町へ移住した。

開業準備では、延べ100人以上のボランティアがサポート。
人との繋がりが新たな人を呼び、訪れた人たちには本場の
韓国料理が振る舞われるなど、交流の場にもなった。
韓国出身という自身の強みと、オーナーの親しみやすい人柄を生かした
お店づくりも、多くの人を惹きつけている。

店舗は、不動産店で見つけた創業93年の老舗「杉野菓子店」を事業継承。
1929年創業の看板を見た瞬間、「創業100年に向けて引き継ぎたい」と決意。
長年親しまれてきた銘菓「ねこの座布団」を復活させるとともに、
幕別産小豆を使った自家製餡で仕上げる
韓国菓子「十勝ホドカジャ」も新たに発売した。
韓国と十勝の魅力を融合させながら、創業100年を目指して挑戦を続けている。

そんなTOKACHI BARONへ
ぜひ一度足を運んでみてください！